

こっこめ通信 08 2005

「夏はやっぱり台風の季節」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

7月上旬は6月同様、霧に包まれていた八丈島ですが、梅雨明け後は一気に“夏到来”の良い天気が続いています。今年の梅雨の降水量は506mmと平年並みでしたが、霧の日が多く、過ごしにくい日が続いたのが印象的でした。飛行機の欠航も多かったので来島できなかった人もいたのではないのでしょうか？

10月からは航空運賃が往復20400円という値下げも決定し、観光客の方も来島しやすくなると思います。これから島が盛り上がり、活気づくとうれしいです。

さて、今回は「台風7号（バンヤン）接近」「八丈島のカミキリムシ」についてのお話です。

台風7号（バンヤン）接近

7月22日に発生した台風7号はそのまま北上を続け、島の西側を北東へと進んでいきました。今年に入って島に近づいた台風は4号に続いて二つ目になります。

今回の台風の影響が出始めたのは24日頃から、大型の台風のため、台風外側の雨雲がかかり始めました。ちょうど島では夏祭り期間中でもあり、突然の大雨と風で、ずぶぬれになってしまう人たちの姿も多く見られました。

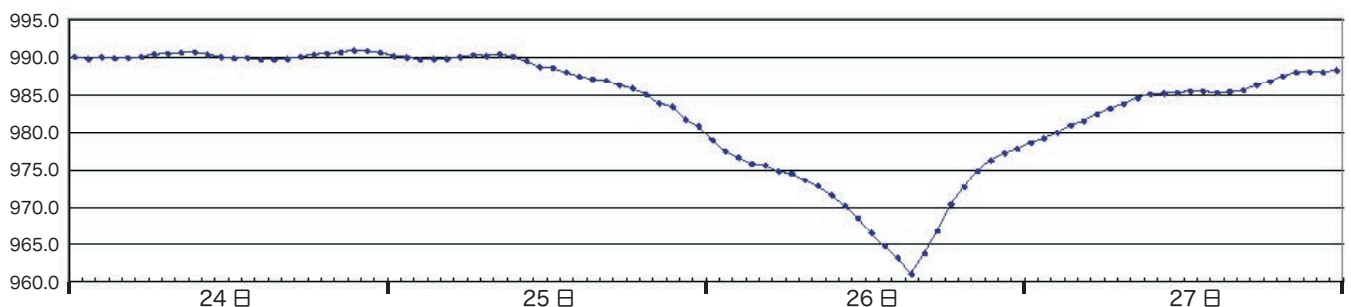
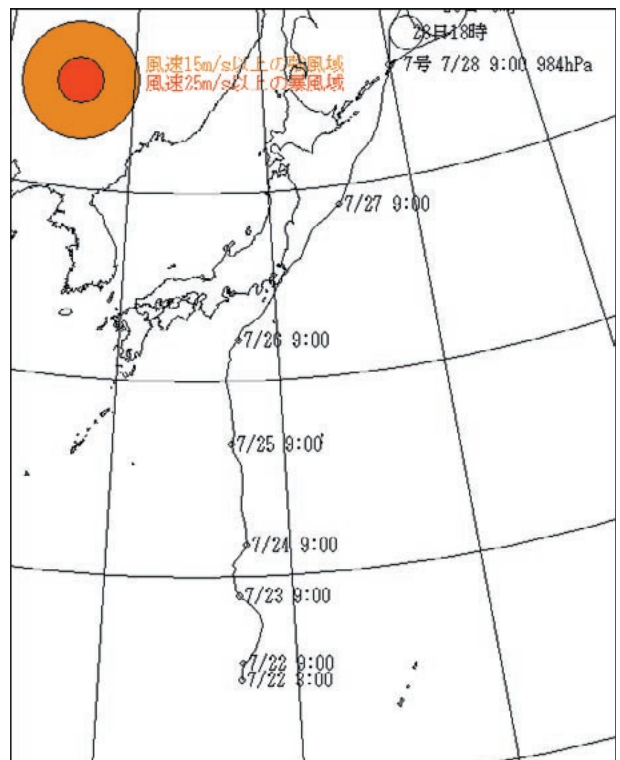


25日の八重根港の様子

下の八丈島測候所現地気圧の表を見てみると、島に最接近したのは26日の16時前後だと思われます。

24日から27日までの総降水量は145.1mm、瞬間最大風速は26日に南南西の風33.0m/sを記録しています。

これからが本格的な台風の季節、今年も島にはあまり近づいて欲しくはありませんね。



「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

八丈島のカミキリムシ

八丈島には伊豆諸島亜種(他の伊豆諸島でも見られるもの)や八丈島特産などのカミキリムシが見られます。今回はそのような島らしいカミキリムシの写真が撮れましたので紹介したいと思います。



イズシラホシカミキリ

Glenea relict aizuinsulana Fujita, 1980

シラホシカミキリの亜種。シラホシカミキリの額がほとんど黒に対してイズシラホシカミキリは、白色微毛で覆われ、前胸の点刻もややまばらになります。伊豆諸島(三宅島・御蔵島・八丈島)に分布しています。タマアジサイやテリハノブドウなどの葉の上で見ることができました。

イズキュウシュウチビトラカミキリ

Perissus kiusiuensis hisamatsui Ohbayashi, 1958

以前はキュウシュウチビトラカミキリ八丈島亜種としての特に和名がなかったものに対して、新たに亜種和名が提唱されました。イズチビトラカミキリとも呼ばれることがあります。八丈島・御蔵島に分布。上翅の帯紋は黄白色、上翅の下方の紋が大きいようです。アシタバなどの花で見ることができました。



ハチジョウトビイロカミキリ

Allotraeus insularis yamagamii Fujita, 1980

リュウキュウトビイロカミキリの亜種。八丈島特産。全体に黄褐色ですが、他の亜種よりは少し濃く、光沢があります。ヤブニッケイが寄生植物で、夜間のその周辺に現れるようですが、今回は燈火に集まってきた個体を撮影しました。

ハチジョウムネマダトラカミキリ

Xylotrechus grayii hachijoensis Takakuwa, 1984

ムネマダトラカミキリの亜種。八丈島特産。他亜種と比べて、触角が先端まですべて黒くなっています。(写真は花粉で白くなっています) 前胸背板の紋は黄色になります。過去、採集記録や観察記録がほとんどありませんでしたが、今年は数個体採集記録されています。



ハチジョウトゲウスバカミキリ

Megopis formosana hachijoana Fujita, 1980

トゲウスバカミキリの亜種。八丈島特産。上翅は黄褐色で、前胸背板が黒褐色なことが特徴です。八丈富士側ではほとんど見られず、三原山側の燈火などで見ることが出来ます。大型のカミキリムシで前胸背板に棘があることすぐに見分けがつきます。

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 7 月 10 日 (13 時 30 分～15 時) に行いました。

八丈植物公園季節調査 (平成 17 年第 6 回) 参加者・菊池昭, 永井, 沖山, V.C. 菊池

NO.	和名 (島名)	状 態	NO.	和名 (島名)	状 態
草本			46	キツネノボタン	花と実
1	カタバミ	花と実	47	オオバコ	花と実
2	メヒシバ	花	48	クサイ	花
3	ノゲシ	花	49	ツルマオ	花
4	ドクダミ	花	50	タケダグサ	花
5	コマツヨイグサ	花と実	51	イヌタデ	花
6	オオマツヨイグサ	花と実	52	ヤブジラミ	花と実
7	ツメクサ	花と実	53	ノチドメ	花
8	ウスアカカタバミ	花と実	54	ヒメヒオウギズイセン	花
9	オニタビラコ	花	55	ミツバ	花
10	アツバスミレ	閉鎖花	56	コセンダングサ	花と実
11	ハマボス	実	57	シチトウスミレ	閉鎖花
12	ヒメコパンソウ	実	58	ヨツバムグラ	実
13	オオアレチノギク	花	59	ヨツバハコベ	花
14	アオノクマタケラン	花と実	60	スズメノエンドウ	実
15	シマウチワドコロ	花	61	ノコンギク	花
16	ヒメジョオン	花	62	クグ	実
17	ヒナギキョウ	花	63	カンガレイ	花と実
18	シロノセンダングサ	花と実	64	イガガヤツリ	実
19	ハハコグサ	花	65	セリ	花と実
20	ベニバナボロギク	蕾	66	ハチジョウアザミ	花
21	アオツツラフジ	蕾	67	トキワツユクサ	花
22	ニワゼキショウ	花と実	68	シマホタルブクロ	花
23	ナギナタガヤ	花と実	69	ヘクソカズラ	蕾
24	シマスズメノヒエ	花	70	ウラジロチチコグサ	花
25	ヤブガラシ	花	71	サクユリ	花
26	ウスベニニガナ	花	72	オニユリ	蕾
27	ツユクサ	花	73	ヌスビトハギ	花と実
28	ギシギシ	実	木本		
29	ヤマカモジグサ	実	1	ガクアジサイ	盛り過ぎ
30	マメグンバイナズナ	実	2	アカメガシワ	若い実
31	ウマノミツバ	花と実	3	ホルトノキ	蕾
32	トウバナ	実	4	オオムラサキシキブ	花
33	タチスズメノヒエ	花	5	モッコク	花
34	オオニワゼキショウ	花と実	6	イヌビワ	実
35	セイヨウタンポポ	花	7	トベラ	実
36	ハキダメギク	花	8	ハチジョウキブシ	実
37	ヒメクグ	実	9	ヤブツバキ	実
38	ヒメヨツバムグラ	実	10	ハゼノキ	実
39	ヒンジガヤツリ	花と実	11	タイミンタチバナ	実
40	チチコグサ	花と実	12	オオバヤシャブシ	実
41	コナスビ	花	13	イヌザンショウ	花
42	ウリクサ	花	14	シチトウエビヅル	花
43	アメリカスズメノヒエ	花	この他にシダ植物 16 種を含め、今回は 103 種の植物を観察しました。		
44	カヤツリグサ	実			
45	チチコグサモドキ	花と実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、これから咲く「ハチジョウギボウシ」にスポットを当ててみたいと思います。



ハチジョウギボウシ *Hosta rupifraga*

イワギボウシの変種で伊豆諸島だけに分布しています。

生育には空中の湿度が重要らしく、雲がかかりやすい山の上の方に多く見られます。八丈島では真夏に山へ登らないと、涼しげなこの花に出会うことはできません。

山頂付近では苔むした木の幹に着生していることもあります

2005 八丈ビジターセンター 8 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	● 5	6
	00:58 08:45 16:46 21:31	02:12 09:31 17:12 22:15	03:07 10:11 17:37 22:46	03:51 10:46 18:00 23:14	04:29 11:19 18:21 23:40	ガイドウォーク 特別スライドショー 「潮だまりの生きもの」 05:05 11:51 18:42
立秋 7 ガイドウォーク 夏休み特別行事 「三原山縦断 トレッキング」 05:41 00:07 19:03 12:21	8	9	10	11	12	☾ 13
	06:17 00:36 19:24 12:50	06:55 01:08 19:46 13:19	07:36 01:42 20:08 13:48	08:22 02:20 20:31 14:18	09:20 03:06 20:55 14:49	ガイドウォーク 夏休み特別行事 「夏の星空観望会」 10:51 04:03 21:25 15:26
14 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 13:29 05:20 22:09 16:28	15	16	17	18	19	○ 20
	15:25 06:50 23:42 19:08	16:14 08:09 21:03	01:33 09:11 16:51 21:57	02:49 10:03 17:24 22:37	03:50 10:50 17:55 23:14	ガイドウォーク 夏休み特別行事 「潮だまり探検隊」 04:43 11:32 18:24 23:51
21 ガイドウォーク 子供クラフト教室 「火山灰アート」 05:34 12:11 18:50	22	処暑 23	24	25	26	☾ 27
	06:22 00:28 19:14 12:46	07:11 01:06 19:35 13:18	08:00 01:45 19:55 13:46	08:54 02:28 20:14 14:09	10:07 03:18 20:34 14:26	ガイドウォーク 八丈学講座 「シダ植物の分類」 12:41 04:22 20:55 14:14
28 ガイドウォーク 子供クラフト教室 「竹ビーズでクラフト」 21:22 05:48	29	30	31			
	07:20 01:27 16:23 21:27	00:40 08:29 16:31 21:51	02:12 09:17 16:47 22:13		この色の日 は 特別行事があります	

イベントプログラム

夏休み特別行事 「三原山縦断トレッキング」	今年コースは、防衛道路無線局から山頂、三原林道を樫立方面へ降りてきます。 8/7 (9:30～ 約6時間) 小学生以上(低学年は保護者同伴) ビジターセンター集合・解散 参加費:500円 定員:20名
夏休み特別行事 「潮だまり探検隊」	潮だまりに棲む生きものを採集してみんなで観察します。濡れても良い格好で！ 8/5・8/20 (10:30～ 約2時間) 小学生と保護者 現地集合・解散(当日決定) 参加費:100円 定員:10名+保護者
スライドショー 「潮だまりの生きもの」	島でダイビングサービスを営む加藤昌一さんによるスライドショー。 8/6 (19:30～ 約1時間半) だれでも ビジターセンター集合・解散 参加費:無料 定員:60名
夏休み特別行事 「夏の星空観望会」	夏の三大形など夏を代表する星の観望会。今年の天気はどうでしょうか？ 8/13 (19:30～ 約1時間半) 小学生以上(低学年は保護者同伴) ビジターセンター集合・解散 参加費:100円 定員:20名
植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！ 8/14 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費:無料 定員:15名
子供クラフト教室 「火山灰アート」	毎年恒例の子供クラフト教室。火山灰を使って絵を描きます。 8/21 (13:30～ 約1時間半) 小学生(低学年は保護者同伴) ビジターセンター集合・解散 参加費:無料 定員:10名
八丈学講座 「シダを分類してみよう」	毎月行っている八丈学講座。今月は、公園内で見られるシダの分類などを行います。 8/27 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費:無料 定員:15名
子供クラフト教室 「竹ビーズで作ろう」	毎年恒例の子供クラフト教室。竹ビーズでオカグトカゲを作ります。 8/28 (13:30～ 約1時間半) 小学生(低学年は保護者同伴) ビジターセンター集合・解散 参加費:無料 定員:10名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち
11:00～ おじゃりやれ 八丈島
14:00～ おじゃりやれ 八丈島
15:00～ おじゃりやれ 八丈島
16:00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2005.8.1 第51号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入場無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話:04996-2-4811 Fax:04996-2-4888

(ホームページでは「こっこめ通信」をカラーで見ることができます)

編集後記

幻と言われていた「ハチジョウムネマダラトラカミキリ」を撮影できたのは、島で昆虫採集の案内をしているビートルショップの菊池淳さんからの情報によるものでした。このような貴重な情報が頂けたことにとっても感謝しています。(高)